

## 保育者養成における童謡弾き歌い（簡易伴奏付け） についての一考察

井 岡 み ほ  
（鶴見大学短期大学部）

### I. はじめに

保育者養成校の学生は、将来保育者となるために、幼児の音楽表現を育てるための技能として、保育現場で歌われる童謡の伴奏法を学んでいる。伴奏譜通りに、弾き歌いが上手に出来る学生は僅かで、多くの学生は、歌いながら伴奏することは、かなり難しいと感じている。保育者養成過程の学生達と接していると、現代社会の価値感の変化に応じて、学生気質も変化し、残念な事に学生達の学習意欲も年々低下して来ているように感じる。簡易伴奏付け技術の習得は、保育者養成の学生にとって必要なことであるが、非常に忍耐力を求められるものになっている。将来、彼らは、働く保育現場で、ピアノやキーボードを使って、幼児達の音楽表現を育む役割を担っている。保育者が、キーボードによる伴奏で、幼児と歌を歌うとき、ピアノ技術が充分備わっていなくても、保育者が楽しく、余裕を持って、笑顔で幼児達と接する事ができるように、より良い伴奏付けの方法を、身に付けてほしいと願い、次のような調査を行った。

### II. 研究目的

日頃、一般学生から、強く感じることは、最近の彼らの学ぶことに対する意識の変化である。現代の若者は、一般的に「努力」や「忍耐」、「反復練習」そして「一所懸命」に対して、マイナスイメージを持っている。保育者養成の学生も、同じように感じている様子が窺える。しかし、童謡弾き歌いの技能を身につけるには、所謂、クラシックピアノ曲の難易度の高い曲を演奏出来る技術より、応用の効くピアノ技術を身に付けている事が大切である。そして、簡易伴奏付けの基礎能力を身に付ける為には、若者達が、マイナスイメージと感じているこれらの言葉を実践する事が、重要且つ必要になって来る。学ぶ為の時間が保証されている学生時代に、将来、保育現場で求められる多くの童謡弾き歌い曲のレパートリーを、こなす能力を身に付ける為、保育者養成過程の学生が、目的意識を持ち、自発的に学習意欲を高める事が大切と考え、次のような調査を行った。現代の学生気質を鑑み、調査結果により、適切な指導法を検討する。

### III. 調査方法とアンケート結果

対象 神奈川県内保育科1年生 119名  
実施 平成13年1月

#### 1. 童謡弾きたいは

1. やさしい	3. 4%
2. 普通	37. 0%
3. 難しい	59. 6%

#### 2. 3. 難しいと答えた理由は次のどれですか。難しい順に番号をつけて下さい。

1. 大学に入学してピアノを始めたばかりで、ピアノ技術が伴わない。	16. 6%
2. ピアノ学習は数年間やっているが、伴奏する技術が充分でない。	14. 9%
3. コードネームが理解出来ない。	5. 1%
4. コードネームの構成音が覚えられない。	13. 1%
5. ルートの音が判らない。	1. 7%
6. リズムや拍子がうまくつかめない。	12. 6%
7. 声が上手く出ない。	16. 0%
8. 声が良く出るが、歌うと同時に伴奏するのは難しい。	15. 4%
9. 歌を知らない。	0. 6%
10. その他	3. 4%

集計は上位3位までの合計による。

#### 3. 1. やさしい 2. 普通と答えた理由について

ピアノを以前から習っていて、弾きこなす技術を持っている。

難しい曲は練習すれば出来るから、さして難しいと思わない。

コードを理解している。

ピアノ、声楽ともやっていたことがあり、好きだから。

簡単な伴奏をつけることが出来る。

曲を知っている。

#### 4. 歌詞の意味、歌の雰囲気、内容を理解して、感情を込めて弾き歌いをするか。

1. まずまず出来ている。	7. 2%
2. 出来る歌と出来ない歌がある。	28. 0%
3. 弾き歌いをするのみで、内容、気持等を感じる余裕がない。	27. 2%
4. 心の中で感じているが、表情が声や伴奏に出し難い。	28. 0%
5. 歌の好き嫌いによって、感情を込めて歌うのが左右される。	1. 6%
6. その他	1. 6%
無回答	4. 0%

5. 実際に弾き歌いをする時、うたの内容に相応しい伴奏をする事ができますか。

- |              |        |
|--------------|--------|
| 1. はい        | 14. 3% |
| 2. いいえ       | 25. 2% |
| 3. どちらともいえない | 58. 0% |
| 無解答          | 2. 5%  |

6. この1年間で約20曲の童謡弾き歌いを勉強しました。実際の園での保育の活動には、もっと多くの童謡弾き歌いの技術が必要です。実際に多くの曲をレパートリーにするには、何が大切で必要ですか。当てはまるものの中で、重要なものから順に番号をつけて下さい。

- |   |        |
|---|--------|
| 1. 数多くの歌を良く知っていて、歌詞を覚えていること。                | 16. 2% |
| 2. コードネームを良く理解、指が即座に動いて準備できるピアノの技術を持っていること。 | 10. 8% |
| 3. 声が出、のびやかに歌えること。                          | 16. 8% |
| 4. ルートの音が即座にわかり、手の準備ができること。                 | 4. 5%  |
| 5. リズムや音、拍子等、音楽の基礎を良く習得していること。              | 9. 0%  |
| 6. ピアノ曲が通っていて、ピアノ技術がよく身についていること。            | 4. 8%  |
| 7. 童謡が好きであること。                              | 12. 5% |
| 8. 童謡の内容を良く理解していること。                        | 5. 4%  |
| 9. 童謡、ピアノ伴奏を自発的に良く練習すること。                   | 18. 8% |
| 10. 授業で多くの弾き歌いの課題を義務付けられて学習すること。            | 1. 1%  |
- 以上、上位3位までの集計より。

#### IV. 考察と結果

- 童謡弾き歌いの技能を習得するには、約6割の学生が難しいと考え、4割の学生が普通、易しいと認識している。その中で、易しいと答えているのは、119人中、僅か4人である。
- 難しい理由として、
  - 大学に入学して、始めるピアノ初心者である。
  - 発声法が身に付いていない。
  - 声は良く出るが、伴奏を同時にやるのは難しい。これら3項が上位に並び、次に2.伴奏を上手くできる程のピアノ技術がない。
  - コードネームの構成音を覚えていない。
  - リズム、拍子が理解不足、と続く。
- 童謡弾き歌いがさほど難しいと感じていない学生は、その理由として、ピアノ演奏技術を持っている、難しい曲は、練習すれば、出来るようになると、練習を当然のことと、受けとめている、などの理由が圧倒的に多い。
- 童謡弾き歌いの際、歌の内容などを、表現するのは、とても大切である。これらは、将来幼児の情緒

と音楽表現を育てる為の礎となる。これらの設問に対して、1.まずまず出来るは僅か7.2%である。

2.と4.で、感じているが、上手く出来ない学生が56%で、約半数を占める。3.の内容や気持を感じる余裕のない学生が27%である。

5. 歌の内容に相応しい伴奏が出来る学生は、14%で、出来ない学生は25%である。出来る曲と出来ない曲があると答えた学生は58%と、半数強になっている。

6. 将来、保育者となった時、保育の現場で数多くの童謡弾き歌い曲を、レパートリーとして持つ為に、学生達は一番大切なこととして、童謡、ピアノ伴奏を自発的に良く練習することをあげている。ついで、声が出、のびやかに歌う。そして、数多くの歌を、良く知っていて、歌詞を覚えていることが必要であると考えている。極めて、まじめに、前向きに考え、判断しているのがわかる。

この1年間、MLで簡易伴奏付けを教えてきたが、前期の終わりには、音楽は楽しくない意味がない、好き嫌いに左右される現代の若者気質が授業態度に現れていた。昨今の成人式で見られたように、集団で黙って話を聞くのは苦手なようだ。反復練習など、忍耐力のいる余り楽しくない作業を伴う簡易伴奏付けは、半数以上の学生が渋々やっている様だった。根音を理解するため、授業と宿題プリントで繰り返し練習し、やれば出来るという充足感を持たせることにより、後期の終わりになると、保育者としての自覚も少しは芽生え、技能を習得していった。一部の学生達は、授業中、理解出来ない事柄があると、私語を交わしたり、携帯電話でのメールの交換を始めたり、教師が説明中にもかかわらず、口々に質問するなど、マイペースで話しかける。集団授業でも、学生一人一人に応じた個別指導が必要である。

童謡は人の心を癒し、夢や希望に誘う力を内包している。童謡は季節感や日本の情緒、心の故郷を映しだしている。日本特有の文化や生活より育まれた豊かな心を、保育科学生は充分に享受し、将来の子供たちのために、子供の心の育ちを、ゆとりを持って援助出来るよう、愛情を持って童謡の心を伝えてほしいと願うものである。